

はじめに

鳥は飛べることにより広い行動範囲をもち人目につきやすく、古くから人の心に安らぎと潤いを与える存在として親しまれてきた。また近年、生息する鳥類の種数や個体数が地域の生物多様性を示す環境指標の一つとしてとらえられるようになった。

兵庫県は、北は日本海から南は太平洋まで連なる全国でも数少ない特異な県域を有しており、中国山地が県土を日本海側と瀬戸内側に二分し、北部の雪国的な日本海型気候、中央山間地の内陸型気候、南部の温暖な瀬戸内海型気候に分けている。地形は、日本海側の海岸地域は急峻、中国山地から瀬戸内側にかけてはなだらかで、瀬戸内地域に広がる平野部に全国最多の溜池を有している。また、5水系の一級河川と93水系の二級河川を合わせて673の全国有数の河川を有し、変化に富んだ自然環境と溜池や里山などの二次自然環境は兵庫県の生物多様性の基盤となっている。

しかし、このように恵まれた自然環境を有する兵庫県にあっても、過去において人の手により健全な生態系に歪みが生じた時期があった。その反省に立って人と自然の共生をめざした自然環境の保全・再生の施策が進められているなか、生物多様性を表す指標の一つとされる鳥類の生息分布の過去と現在を把握・比較することは、地域の健全な生態系の保全・再生の施策推進に役立つことと考える。

過去においても同様の趣旨から、1970年に鳥類同好会¹⁾から兵庫県鳥類目録「兵庫の鳥」が初めて刊行され、次いで1990年に兵庫野鳥の会²⁾によりその増補改定版が刊行されている。また、兵庫県から1989年と1995年に「兵庫県の鳥類³⁾」および「兵庫県の鳥類(Ⅱ)⁴⁾」がそれぞれ刊行されている。

これらの調査報告には、春秋の渡りの時期を含めて鳥類の観察記録が丹念に収録されているが、鳥類にとってもっとも重要な繁殖期と越冬期の生息分布図がいまだ作成されていない。これら両期間の生息分布図を作成することは、兵庫県の鳥類生息地としての自然環境の多様性の現状を記録する上で非常に重要な意味を持つものであることから、あらためて全県的な生息情報の調査をおこなったのが本冊子を作成した動機である。

1 分布図を作成した鳥類について

1) 対象とした鳥類

基本的に一年を通し兵庫県に生息する「留鳥」、春に兵庫県に飛来して繁殖する「夏鳥」、冬季に県内で越冬する「冬鳥」についてと、外来種7種(表1のID194~200)の合計200種とし、そのリストを表1に示した。表1に示した繁殖期間内(間違いなく定着・繁殖していると考えられる時期)に生息確認された情報を「繁殖期」の生息情報、また、12月初日から2月末日の間に生息確認された情報を「越冬期」の生息情報として収集した。したがって、夏鳥については繁殖期情報を、冬鳥については越冬期情報を、留鳥については両情報を収集した。

表1 対象種、渡り区分および設定繁殖期間

ID	種名	渡り区分	繁殖時期	ID	種名	渡り区分	繁殖時期	ID	種名	渡り区分	繁殖時期
1	カイツブリ		5-7	68	イカルチドリ	留	5-7	135	ジョウビタキ	冬	
2	ハジロカイツブリ	冬		69	シロチドリ	留	5-7	136	イソヒヨドリ	留	5-7
3	ミミカイツブリ	冬		70	ケリ	留	5-7	137	トラツグミ	留	5-7
4	カンムリカイツブリ	冬	5-7	71	タゲリ	冬		138	マジジロ	夏	5-7
5	カワウ	留	5-7	72	オジロトウネン	冬		139	クロツグミ	夏	5-7
6	サンカノゴイ	冬		73	ハマシギ	冬		140	アカハラ	冬	
7	ヨシゴイ	夏	5-7	74	クサシギ	冬		141	シロハラ	冬	
8	オオヨシゴイ	旅		75	タカブシギ	冬		142	マミチャジナイ	旅	
9	ミソゴイ	夏	5-7	76	イソシギ	留	5-7	143	ツグミ	冬	
10	ゴイサギ	留	5-7	77	ヤマシギ	留	5-7	144	ヤブサメ	夏	5-7
11	ササゴイ	夏	5-7	78	タシギ	冬		145	ウグイス	留	5-7
12	アマサギ	夏	5-7	79	アオシギ	冬		146	オオヨシキリ	夏	5-7
13	ダイサギ	留	5-7	80	ユリカモメ	冬		147	メボソムシクイ	夏	5-7
14	チュウサギ	夏	5-7	81	セグロカモメ	冬		148	エソムシクイ	旅	6-8
15	コサギ	留	5-7	82	オオセグロカモメ	冬		149	センダイムシクイ	夏	5-7
16	クロサギ	留	5-7	83	カモメ	冬		150	クイタダキ	冬	5-7
17	アオサギ	留	4-7	84	ウミネコ	冬		151	セッカ	留	5-7
18	コウノトリ	留		85	ズグロカモメ	冬		152	キビタキ	夏	5-7
19	マガン	冬		86	アジサシ	旅・特		153	オオルリ	夏	5-7
20	ヒシクイ	冬		87	コアジサシ	夏	5-7	154	コサメビタキ	夏	5-7
21	オオハクチョウ	冬		88	キジバト	留	12-7	155	サンコウチョウ	夏	5-7
22	コハクチョウ	冬		89	アオバト	留	5-7	156	エナガ	留	3-6
23	ツクシガモ	冬		90	ジュウイチ	夏	5-7	157	ツリスガラ	留	5-7
24	オシドリ	留	5-7	91	カッコウ	夏	5-7	158	コガラ	留	5-7
25	マガモ	留	5-7	92	ツツドリ	夏	5-7	159	ヒガラ	留	5-7
26	カルガモ	留	5-7	93	ホトトギス	夏	6-7	160	ヤマガラ	留	5-7
27	コガモ	冬		94	トラフズク	冬		161	シジュウカラ	留	5-7
28	トモエガモ	冬		95	コムシズク	冬		162	ゴジュウカラ	留	5-7
29	ヨシガモ	冬		96	コノハズク	夏	5-7	163	キバシリ	留	5-7
30	オカヨシガモ	冬		97	オオコノハズク	冬		164	メジロ	留	5-7
31	ヒドリガモ	冬		98	アオバズク	夏	5-7	165	ホオジロ	留	5-7
32	アメリカヒドリ	冬		99	フクロウ	留	5-7	166	ホオアカ	冬	
33	オナガガモ	冬		100	ヨタカ	夏	5-7	167	カシラダカ	冬	
34	シマアジ	冬		101	ハリオアマツバメ	夏	5-7	168	ミヤマホオジロ	冬	
35	ハシビロガモ	冬		102	ヒメアマツバメ	留	5-7	169	アオジ	冬	5-7
36	ホシハジロ	冬		103	アマツバメ	夏	5-7	170	クロジ	留	5-7
37	キンクロハジロ	冬		104	ヤマセミ	留	5-7	171	オオジュリン	冬	
38	スズガモ	冬		105	アカショウビン	夏	5-7	172	アトリ	冬	
39	ホオジロガモ	冬		106	カワセミ	留	5-7	173	カワラヒワ	留	5-7
40	ミコアイサ	冬		107	ブッポウソウ	夏	5-7	174	マヒワ	冬	
41	ウミアイサ	冬		108	アリスイ	冬		175	ベニヒワ	冬	
42	カワアイサ	冬		109	アオゲラ	留	5-7	176	ハギマシコ	冬	
43	ミサゴ	留	3-7	110	アカゲラ	留	5-7	177	オオマシコ	冬	
44	ハチクマ	夏	6-8	111	オオアカゲラ	留	5-7	178	イスカ	冬	
45	トビ	留	4-7	112	コゲラ	留	5-7	179	ベニマシコ	冬	
46	オオタカ	留	4-7	113	ヤイロチョウ	夏	5-7	180	ウソ	冬	5-7
47	ツミ	留	4-7	114	ヒバリ	留	5-7	181	コイカル	冬	
48	ハイタカ	留	4-7	115	ツバメ	夏	5-7	182	イカル	留	5-7
49	ケアシノスリ	冬		116	コシアカツバメ	夏	5-7	183	シメ	冬	
50	ノスリ	冬		117	イワツバメ	夏	5-7	184	ニュウナイスズメ	冬	
51	サシバ	夏	5-7	118	キセキレイ	留	5-7	185	スズメ	留	3-7
52	クマタカ	留	3-7	119	ハクセキレイ	留	5-7	186	コムクドリ	旅	5-7
53	イヌワシ	留	3-6	120	セグロセキレイ	留	5-7	187	ムクドリ	留	5-7
54	ハイイロチュウヒ	冬		121	ピンズイ	冬		188	カケス	留	5-7
55	チュウヒ	冬	4-7	122	タヒバリ	冬		189	カササギ	留	
56	ハヤブサ	留	4-7	123	サンショウクイ	夏	5-7	190	コクマルガラス	冬	
57	コチョウゲンボウ	冬		124	ヒヨドリ	留	5-7	191	ミヤマガラス	冬	
58	チョウゲンボウ	冬	4-7	125	モズ	留	5-7	192	ハシボソガラス	留	3-7
59	ウスラ	冬		126	アカモズ	夏	5-7	193	ハシブトガラス	留	3-7
60	ヤマドリ	留	5-7	127	キレンジャク	冬		194	コジュケイ	留	5-7
61	キジ	留	5-7	128	ヒレンジャク	冬		195	ドバト(カワラバト)	留	
62	クイナ	冬		129	カワガラス	留	2-5	196	ソウシチョウ	留	5-7
63	ヒクイナ	留	5-7	130	ミソサザイ	留	5-7	197	ベニスズメ	留	5-7
64	バン	留	5-7	131	カヤクグリ	冬		198	ギンバラ	留	5-7
65	オオバン	冬	5-7	132	コマドリ	夏	5-7	199	キンバラ	留	5-7
66	タマシギ	留	5-7	133	コルリ	夏	5-7	200	ハッカチョウ	留	5-7
67	コチドリ	留	5-7	134	ルリビタキ	冬	5-7				

繁殖時期：月-月

2) 渡り区分の定義

鳥類は一般的に留鳥、夏鳥、旅鳥、冬鳥に区分される。留鳥は、周年兵庫県に留まる種を意味するが、ダイサギ、カワラヒワ等、繁殖期と越冬期で亜種が異なると考えられる種も留鳥として扱った。

また、県内で一般に夏鳥または冬鳥とされる種であっても、複数の地域で越冬または繁殖の情報があつた種は留鳥とした。なお、特定の地域一ヶ所のみで繁殖または越冬している夏鳥あるいは冬鳥は、一般に定義されているように夏鳥あるいは冬鳥として扱った。

旅鳥は今回の分布調査の対象ではないが、数年継続して県内で繁殖または越冬事例のある種は掲載の対象とした。

2 分布情報の情報源と情報数

本冊子の分布図は、以下の情報から作成した。

① 日本野鳥の会兵庫県支部会員を対象としたアンケート調査

会員歴が長く、地域に観察フィールドを持って野鳥観察を継続している会員を対象としたアンケート結果。

人と自然の博物館のホームページによる、外来鳥類7種の登録情報

外来種（7種）については識別が容易であるため、広く一般会員からもデータを募集した。

② 日本野鳥の会兵庫県支部の探鳥会記録

③ 日本野鳥の会兵庫県支部の生息調査記録

ガンカモ科鳥類・ハクチョウ類生息調査、野鳥の生息環境モニタリング調査、明石公園鳥類生息調査、播磨地域ため池調査

④ 但馬野鳥の会の好意により提供された会報資料

「I LOVE BIRD」

⑤ 宝塚野鳥の会の好意により提供された探鳥会記録

⑥ 西脇市動植物生態調査研究グループの好意により提供された調査資料

⑦ 兵庫県が保有している既存の調査資料

（兵庫県および関係団体の好意により提供された情報）

「兵庫の鳥」、「兵庫県の野鳥」、「兵庫県の野鳥（Ⅱ）」

また、国および県がおこなった河川水辺の国勢調査の成果および丹波野鳥の会が収集したデータ（丹波の野鳥）も使わせていただいた。

3 収録データおよび調査地点について

アンケート調査には、巻末付表に記載の69名、3団体から回答を得た。博物館のホームページへの情報提供者16名からの情報をあわせて総情報数24,944件となった。そして既存の資料から抽出したデータを合わせた43,893件が分布図作成の基礎データとなった。

データの収集地点を2004年以前の10年間（以後、「1995年以後」と表記）とそれ以前（1994年以前）に分けて、それぞれの分布を図1に示した。データを収集できた地点数（調査地点数）は、1994年以前が925、1995年以後は959であり、2つの時期の調査地点数に大きな差はない。しかし、調査地点の分布には両時期で少し違いがある。1994年以前では地点は全県に万遍なく分布しているが、1995年以

後では少し偏りがあり、人口が集中する県南部、および県北部の地域で情報が多く集まったのに対し、県東部の篠山市、丹波市、県西部の佐用郡、穴粟市、六甲山北側の三木市、加東郡および朝来市では情報が少なかった。特にゴルフ場造成が急速に進んだ地域に空白が目立つ。また、姫路市家島町については最近の情報が得られなかったため、1995年以降は空白となった。

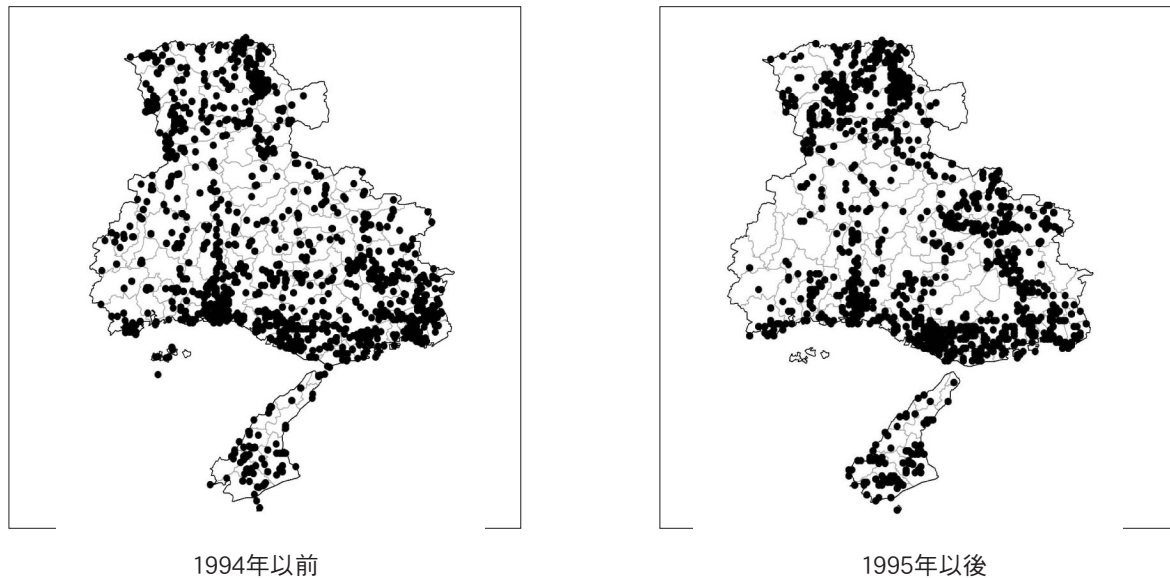


図1 兵庫県内における鳥類生息情報の収集地

分布図作成の全データに含まれる地点数および種数の分布を、2次メッシュ単位で図2に示した。播磨地域南部の姫路市、加古川市と摂津地域の神戸市東部から西宮市、および豊岡市周辺で最も種数が多く記録され、逆に県境では種数が少ない。また、都市近郊では、ゴルフ場が大きな面積を占める東条町から吉川町にかけては地点数も少なく、種数のリストアップも不十分かと思われる。

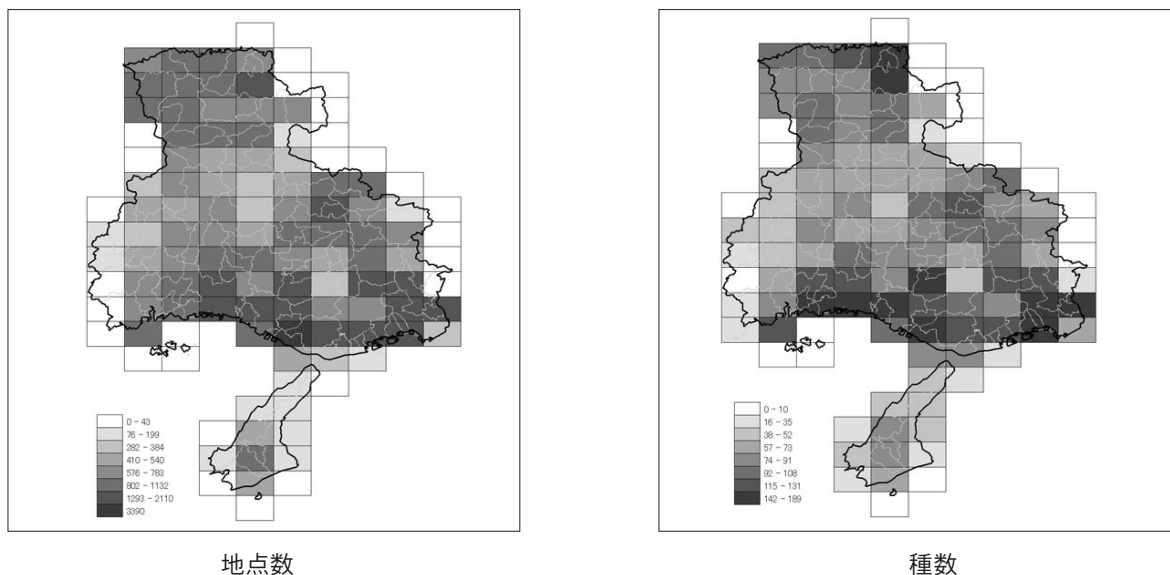


図2 2次メッシュ単位による全データの地点数および種数の地域分布

1994年以前と比べると、1995年以後の情報収集地点には偏りが見られる。その理由として考えられるのは、ゴルフ場、工業団地、住宅地等の造成工事による観察地の消滅、鳥類相の変化に起因する各個人の観察地の変更、情報提供者の加齢に伴う観察地の変更等である。

また、後に示すスズメやカラスの分布図を見ると分かるように、県内全域に分布するはずの普通種に

については分布の実態が十分把握できなかつた。情報提供者の多くが設定している観察地は、比較的鳥類相が豊かな場所で普通種が少ないこと、観察者が普通種を記録に残さない傾向があることがその原因と考えられる。今後、これらの問題点を克服して、県内全域における実態調査を実施する必要がある。

4 分布図から見えてきたこと

前述のように1994年以前と1995年以後で情報地点の分布が異なることから、種によっては分布の変化の解釈には注意を要するが、県北部の但馬地域と南部の沿岸地域においては情報地点の分布に大差がなく、そのまま比較できる。また、希少種については観察者が注意深く記録を取り続ける傾向があるので、その実態はほぼ明らかになったと考えられる。

後述の分布図目録から、野鳥の生息分布にとって淡路地域が特異的な地域であることを再認識した。淡路島は明石海峡を挟んで兵庫県本土からわずか4 kmしか離れていないが、摂津、播磨地域の沿岸地域では普通に生息している種の中で、表2に示す種（繁殖期11種、越冬期14種）について今回の調査では生息確認情報がなかつた。キツツキ科については、以前から淡路島には殆ど生息していないことが知られているが、その他の種にも同様の傾向があるのには関心が持たれる。

表2 淡路地域に生息確認情報がなかつた種

繁殖期		越冬期	
目録 No.	種 名	目録 No.	種 名
11	ササゴイ	40	ミコアイサ
44	ハチクマ	42	カワアイサ
66	タマシギ	66	タマシギ
70	ケリ (1994年以前)	70	ケリ (1994年以前)
100	ヨタカ	78	タシギ
109	アオゲラ	99	フクロウ
110	アカゲラ	109	アオゲラ
112	コゲラ(1994年以前)	110	アカゲラ (1994年以前)
119	ハクセキレイ	112	コゲラ(1994年以前)
182	イカル	129	カワガラス
188	カケス	130	ミソサザイ
		172	アトリ
		174	マヒワ
		188	カケス

イヌワシ、ブッポウソウなど危機的絶滅危惧種だけでなく、見た目には個体数が多く、まだしばらく安心できそうに見えるコアジサシやシロチドリの繁殖地も危機的状況にあることが見て取れるであろう。その他の種においても図にしてみると想像以上に生息を脅かされていることがわかる種があり、本冊子が県土の生態系保全推進に寄与できることと確信する。

最後に、情報を提供していただいた皆様と団体関係者の皆様に深く感謝する。既存資料からデータとして収録を許可いただいた兵庫野鳥の会、兵庫県農林水産部、丹波野鳥の会の関係各位に厚くお礼申し上げる。また、本冊子の原稿整理に協力いただいた日本野鳥の会兵庫県支部会員各位に深謝する。

日本野鳥の会兵庫県支部 研究部長
奥野 俊博

参考文献

- 1) 鳥類同好会：兵庫の鳥，1970，鳥類同好会，神戸市
- 2) 兵庫野鳥の会：兵庫の鳥，1991，兵庫野鳥の会，神戸市
- 3) 兵庫県農林水産部林務課：兵庫県の鳥類，1985，兵庫県農林水産部林務課，神戸市
- 4) 兵庫県農林水産部林務課：兵庫県の鳥類（Ⅱ），1995，兵庫県農林水産部林務課，神戸市
- 5) 江崎保男・和田 岳（編）山岸 哲（監修）：近畿地区・鳥類レッドデータブック，2002，京都大学学術出版会，京都市

分布図目録

- 1 目録の配列は外来種を除いて日本鳥類目録改訂第6版（日本鳥学会2000）の目、科掲載順位に従った。
- 2 兵庫県の略図中の市町行政区画は、2004年1月現在の旧行政区画（21市62町）で表示した。確認記録の記述も位置関係を把握しやすくするため、旧行政区画の名称を用いた。また、解説の中で用いた「淡路」、「摂津」、「播磨」、「丹波」、「但馬」の5地域と、各地域の旧市町名を表示した位置図を付図として巻末に添付した。
 なお、2004年度から2005年度にかけて県内の市町合併が急速に進み、2006年4月現在で28市12町となったが、新たに合併した市町の新旧対照表を付表として巻末に示した。
- 3 「確認記録」の記載は、市郡をゴシック体で表記し、続いて町名または地名、確認年月、報告者名略記の順とした。なお、略記した報告者氏名や団体名等のフルネームは巻末に示した。
 同じ市郡および町内で複数の地点や時期が報告されている場合は、冒頭以後の市郡および町名を省略した。また、同一報告者による複数地点の報告は、一連の報告地点・年月の記載を続けた末尾に報告者名を略記した。
- 4 希少種および人為圧の影響が懸念される種については2次メッシュ単位のグラジエント表示とし、確認記録の地名表示を避けた。
- 5 外来種については、越冬期に分布が広がることが分っているソウシチョウを除いて、繁殖期と越冬期をまとめて掲載した。
- 6 希少性カテゴリーの略記は、環境省および兵庫県の下記に示した出典に基づいて記載した。

「改訂・日本の絶滅の恐れのある野生生物」鳥類(2002) 環境省

絶滅危惧IA類 (CR)	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
絶滅危惧IB類 (EN)	IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
絶滅危惧II類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種

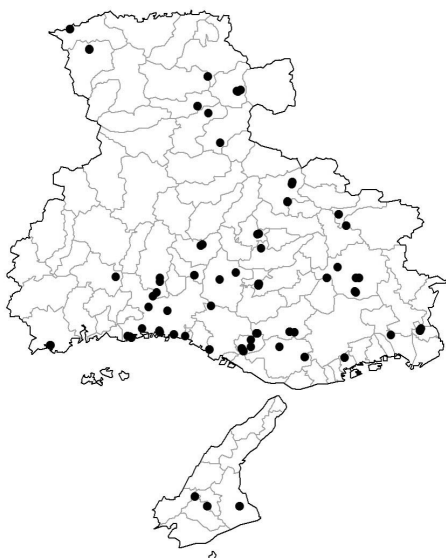
「改訂・兵庫の貴重な自然」- 兵庫県版レッドデータブック2003- 兵庫県

E x	過去に毎年・通年見られた種だが、現在では稀に迷鳥としてしか見られない種
A ランク	日本版レッドデータブックの絶滅危惧Ⅰ類に相当
B ランク	日本版レッドデータブックの絶滅危惧Ⅱ類に相当
C ランク	日本版レッドデータブックの準絶滅危惧に相当
要注目種	最近減少の著しい種、すぐれた自然環境の指標となる種など貴重種に準ずる種

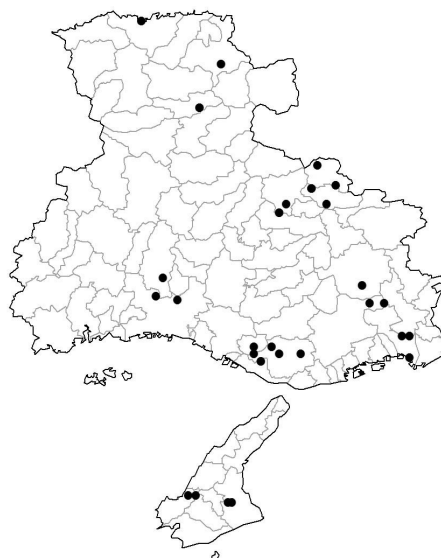
カイツブリ目 Podicipediformes
カイツブリ科 Podicipitidae

1. カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*

(カイツブリ科—留鳥—)



繁殖期 1994年以前

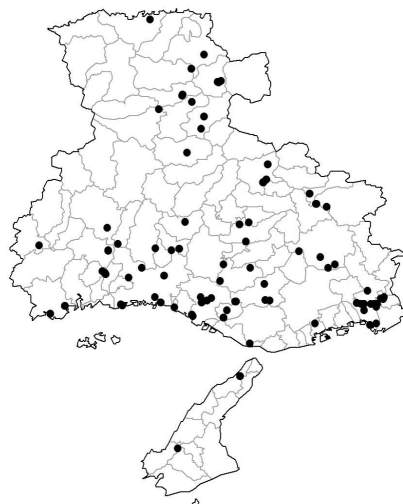


繁殖期 1995年以後

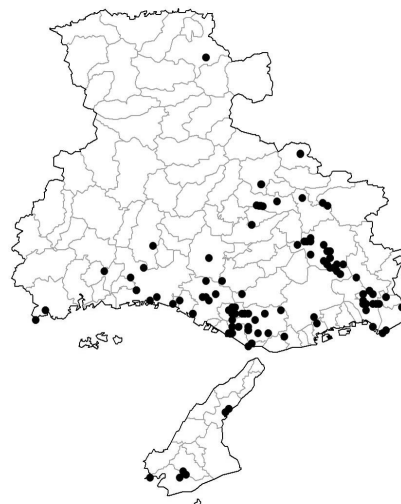
本来、兵庫県内全域の溜池や河川に分布する種と考えられるが、山間部には少ない。1995年以後、県北部と南部の繁殖地確認の減少傾向が認められるが、分布には大きな変化が認められない。越冬地も繁殖地と同様の傾向が認められる。

確認情報

加古川市 加古川大堰, 2004/2:松重, 加古川町, 1988/2, 1986/2:支探, 志方東公園, 2004/1:松重, 日岡山公園, 2003/12, 1991/12, 平荘湖, 2002/2, 1982/1:支探;加西市 三田池, 2004/12;高砂市 加古川河口, 2004/1:松重, 高砂町, 2004/2, 2001/2:支探;三田市 テクノパーク, 2004/12, 下田中, 2004/12, 三田町, 2004/12, 1984/1, 山田, 2004/12, 1981/12, 千丈寺湖, 2004/12, 1983/5, 川除, 2004/12, 1982/6, 大原, 2004/12, 大川瀬, 2004/12:久後, 武庫川, 2000/1, 1995/12:支探, 福島, 2004/12:久後, 福島大池, 2003/12, 1995/5:支探, 未, 2004/12, 1983/5, 藍本, 2004/12:久後, 美養川, 2004/12:松重;洲本市 大池, 2004/7:出口, 2004/7:, 竹原貯水池, 1979/6:平野;小野市 男池, 2004/1:松重, 男池, 2004/1, 1984/1, 平池, 1989/1:支探;神戸市 伊川谷町潤和, 2004/12:渡辺, 小寺, 1998/12, 押部谷町木幡, 2004/12, 岩岡町野中, 2004/12, 野中, 1995/5, 玉津町田中, 2004/12, 2001/12, 性海寺川, 2004/12, 2003/1:渡辺, 小鳥喰池, 2001/2, 1997/1:飛田, 森林植物園, 2000/1:支探, 神出町南, 1990/5:北野, 宝勢, 2004/12, 須磨区, 2004/12, 2001/12:渡辺, 川下川ダム, 2001/5, 道場町, 2001/5:支独, 1999/2, 1996/2:支探, 生野, 2004/2, 1998/2:宝塚, 樋谷町寺谷, 1996/6:北野, 布引, 2000/2, 1981/12:支探, 平野町黒田, 2004/12, 1995/5, 福中, 2004/12:渡辺, 宝勢, 2004/2:松重, 和合成池, 1999/5:中南;西宮市 ニテコ池, 2005/1, 1991/12:梶本, 塩瀬町, 2004/2:支探, 五ヶ池, 2004/12:飯田, 甲山森林公園, 2004/2, 1996/1:支探, 1992/1:飯田, 西宮浜町, 2000/6:小畑, 浜甲子園, 2004/2, 1999/12, 武庫川, 1999/2, 1987/12:支探, 2001/12, 1989/1:飯田, 北山野水池, 2005/1, 1998/1:梶本, 1990/1:飯田;赤穂市 古池漁港, 2004/12:松重, 西浜塩田跡, 1992/1, 1984/2:支探, 鷓和, 2004/12:松重;尼崎市 猪名川, 2004/12:長江, 椎堂, 2002/2, 2001/2, 尼崎沖埋立地, 2003/12:支探, 1998/12:長江;姫路市 大塩塩田跡, 1975/5:工, 興浜, 1992/7:三谷, 穴虫池, 2005/1:工, 広畑区, 1974/7:三谷, 市川, 1996/2, 1985/12:支探, 市川河口, 2004/2:松重, 書写山,



越冬期 1994年以前



越冬期 1995年以後

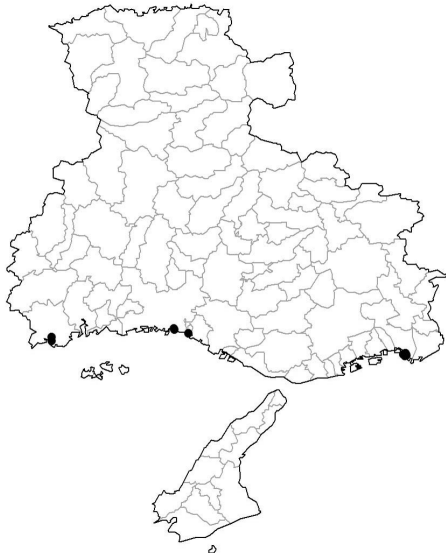
2002/1, 1985/5:支探, 大塩海岸, 1993/1:工, 中島, 1988/5, 1981/5:支探, 的形町, 2005/1:工, 自然観察の森, 1997/2, 1992/2:支探, 保城, 1997/5:三谷;宝塚市 伊子志, 1999/12, 1997/12:支探, 御殿山, 1993/2:丹羽, 仁川, 2001/5, 2001/1:大河戸, 清荒神, 2001/1:西田, 武庫川, 2004/1, 2002/1:丹羽, 弁天池, 1989/1:飯田;伊丹市 昆陽池, 2004/2, 1984/2:支探, 2004/12:長江;豊岡市 木内, 2003/2, 六方, 2000/5:但馬, 1992/1:池口;明石市 魚住町, 2004/12, 1998/1:長尾, 大観町, 2004/12:渡辺, 大久保町, 2004/12, 1998/1:長尾, 2004/12, 1998/7:田中, 明石公園, 2002/1, 1985/2:支探, 2003/2:松重;龍野市 揖保川, 1983/1, 龍野公園, 2002/12, 1985/1:支探;加古郡 プドウ池, 2004/12:松重, 稲美町, 2004/2, 1987/7:支探, 2004/12:渡辺, 加古大池,

2004/2:松重, 経の池, 2003/1, 溝ヶ沢池, 2004/1:松重, 1997/1:飛田, 千波池, 1990/12:工, 2001/2, 1997/2:飛田, 長法池, 2003/1, 入ヶ池, 2003/1:松重; 三原郡 牛内ダム, 2002/1, 戸川池, 2002/1, 大正池, 2002/1:下土居, 南淡町, 1998/12:出口, 八木, 1979/7:平野, 倭文川, 1999/5:出口; 氷上郡 佐野鳥獣

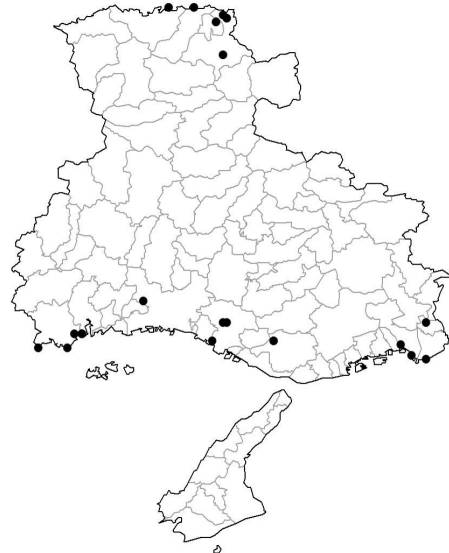
保護区, 1994/12, 小野, 2004/5, 1995/6:梅津; 城崎郡 矢田川, 1995/7:但馬; 飾磨郡 夢前町, 2002/5, 1982/7:三谷; 朝来郡 和田山町, 1993/12:但馬; 津名郡 生穂, 2004/1, 1998/12:出口, 北淡町, 1979/1:平野; 養父郡 八鹿町, 2000/6:但馬; 多可郡 福地, 1998/1:飛田

2. ハジロカイツブリ *Podiceps nigricollis*

(カイツブリ科—冬鳥—)



越冬期 1994以前



越冬期 1995以後

主に瀬戸内側の海岸に近い海上や溜池で越冬していたが、1995年以後内陸の溜池や日本海側の海岸でも確認されるようになり、越冬確認地域が広がっている。

確認情報

神戸市 神出町宝勢, 1995/12:渡辺; 西宮市 夙川, 2002/12, 2004/2, 1986/12; 尼崎市 尼崎沖埋立地, 2003/12:姫路市 姫路自然観察の森, 1995/12:加古川市 平荘湖, 2002/2:支探, 2004/2:松重, 西浜町, 1981/2, 千種川, 2003/12, 1995/1:重政, 古池漁港, 2004/12:赤穂市 赤穂御崎, 2005/12, 坂越漁港,

2004/12, 西浜塩田跡, 1990/1:支探, 円山川, 2002/1:高砂市 加古川河口, 2004/1:豊岡市 気比, 1998/12:但馬; 伊丹市 昆陽池公園, 2004/12:長江: 城崎郡 竹野, 1996/1:松本, 佐津川河口, 1995/2, 城之崎犬橋付近, 2003/1, 竹野川河口, 1996/1:但馬

3. ミミカイツブリ *Podiceps auritus*

(カイツブリ科—冬鳥—)



越冬期 1994以前



越冬期 1995以後

冬鳥として渡来するが、兵庫県での越冬例は少なく、ごく限られた地域で確認されている。沿岸域でハジロカイツブリに混って越冬していると思われるが、海域のため報告例が少ない。

確認情報

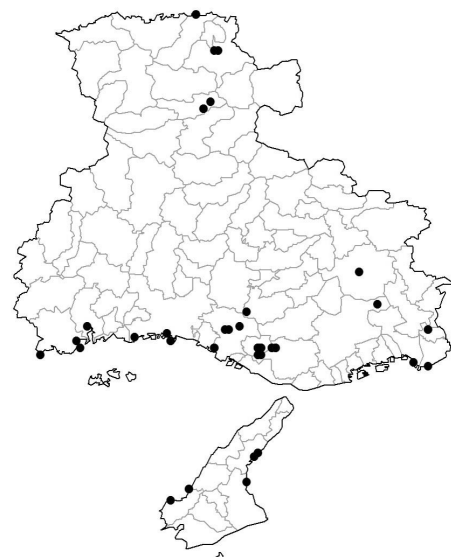
姫路市 自然観察の森, 1991/12; 丸谷; 西宮市 浜甲子園, 1980/12; 三谷; 城崎郡 佐津川河口, 1995/2; 但馬

4. カンムリカイツブリ *Podiceps cristatus*

(カイツブリ科—冬鳥—)



越冬期 1994年以前



越冬期 1995年以後

冬鳥として日本海側と瀬戸内側の海岸と河川、その近くの湖沼に飛来している。その越冬確認地の分布に変化は少ないが、近年増える傾向にあり、淡路地域の海岸部でも確認されるようになった。

確認情報

伊丹市 昆陽池, 2004/12: 長江, 2004/2, 1989/2: 支探: 加古川市 加古川町, 1988/2, 1986/2, 日岡山公園, 1991/12: 支探, 加古川河口, 2005/1: 木下, 2004/2: 松重, 平荘湖, 2002/2, 1982/1: 支探, 2004/2: 加古川大堰, 2004/2: 松重: 高砂市 加古川, 2004/2, 2001/2: 支探: 三田市 千丈寺湖, 2004/12, 1989/2: 久後: 洲本市 厚浜沖, 2004/2: 出口: 小野市 男池, 2002/2: 支探: 神戸市 岩岡町野中, 2004/12: 渡辺, 1995/1: 北野, 神出町宝勢, 2004/1, 1996/1: 渡辺, 1997/1: 北野, 2004/2: 松重, 小鳥喰池, 2001/2, 1998/2: 飛田, 道場町, 1996/2: 西宮市 浜甲子園, 2003/1, 1983/1: 支探: 赤穂市 丸山海岸, 2004/12, 古池漁港, 2004/12, 坂越漁港, 2004/12: 松重, 西浜町, 1981/2: 重政, 西浜塩田

跡, 1992/1, 1990/1: 支探: 相生市 相生港, 2004/12: 松重: 尼崎市 尼崎沖埋立地, 2003/12: 支探, 2004/11: 長江: 姫路市 鹿磨区妻鹿日田町, 2004/2: 松重, 飾磨区, 1989/5: 三谷, 大塩町, 1993/1: 工, 網干区, 1990/3: 三谷, 網干区興浜, 2004/12: 松重, 市川, 1993/12, 1990/12: 支探: 豊岡市 一日市, 2004/12, 円山川, 1999/7, 1996/6: 但馬: 加古郡 千波池, 1990/12: 工, 岡, 2004/12, 1995/12: 渡辺, 溝ヶ沢池, 1997/1: 飛田, 2004/1: 松重: 三原郡 慶野松原, 2004/1, 1999/1: 橋本, 中津浦, 2004/12: 出口: 城崎郡 矢田川, 1993/12, 竹野川下流, 2000/1: 但馬: 津名郡 生徳・佐野界限, 2004/1, 1998/12: 出口: 養父郡 下網場, 2000/1, 小田, 1994/1: 但馬

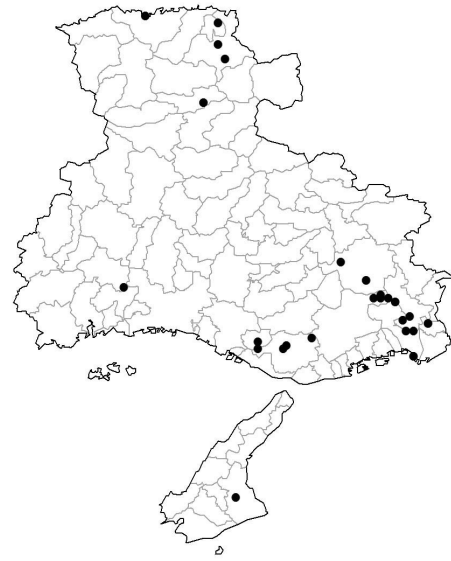
ペリカン目 *Pelecaniformes*
ウ科 *Phalacrocoracidae*

5. カワウ *Phalacrocorax carbo*

(ウ科—留鳥—)



繁殖期 1994年以前

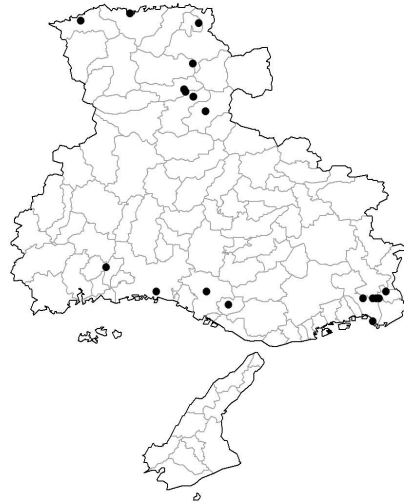


繁殖期 1995年以後

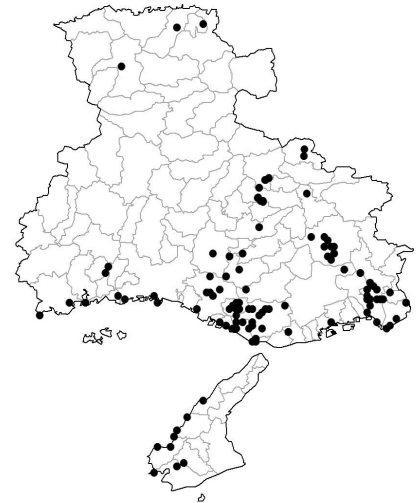
1970年代以前は兵庫県内での生息確認例は極めて少ないが、1980年代に播磨東部地域と摂津地域に数ヶ所確認され、1990年代に但馬北部地域にも確認されるようになり、2000年以後淡路地域を含めて急速に県内での生息分布を広げている。2004年現在、県北部地域と南部地域では繁殖期、越冬期ともに生息が見られる留鳥となり、16ヶ所の繁殖コロニーが確認されている。

確認情報

伊丹市 昆陽池, 2004/2, 1989/2: 支探, 2004/5, 2001/5: 長江: 加古川市 加古川河口, 2005/1: 木下, 2004/2, 加古川大堰, 2004/2, 志方東公園, 2004/1: 松重, 日岡山公園, 2002/12, 1999/12, 平荘湖, 2002/2: 支探: 加西市 三田池, 2004/1: 高砂市 加古川河口, 2004/2: 松重: 三田市 千丈寺湖, 2004/12, 武庫川, 2004/12, 福島大池, 2004/12, 2001/2: 久後, 2003/12, 2000/5: 支探, 藍本, 2004/12, 2001/5: 久後: 三木市 別所町美囊川, 2004/12: 松重: 洲本市 大池, 2004/7: 出口: 小野市 広渡町, 2003/1, 男池, 2004/1: 松重, 2004/1, 1996/1: 支探: 神戸市 伊川合流点, 2004/12, 伊川谷町潤和, 2004/12: 渡辺, 押部谷町, 2004/1: 松重, 2004/12, 1995/5: 渡辺, 岩岡町 野中, 2004/12, 1995/5, 玉津町 田中, 2004/12, 2001/12, 高和性海寺川, 2004/12, 2003/1: 渡辺, 小鳥喰池, 1998/2, 1998/2: 飛田, 神出町宝勢, 2004/2: 松重, 2004/12, 1995/4, 菅の台, 2004/12, 2001/12: 渡辺, 千刈ダム, 2001/5: 支独, 川下川ダム, 2001/5: 支独, 中央区, 2004/12, 2002/1: 福原, 道場町, 2001/2, 1999/2: 支探, 道場町生野, 2001/6: 支独, 平野町 黒田, 2004/12, 1995/5: 渡辺, 中津, 1998/2: 北野, 福中, 2004/12: 渡辺, 北区, 2001/5: 支独: 西宮市 ニテコ池, 2005/1: 梶本, 塩瀬町, 2004/6, 2001/1: 支探, 五ヶ池, 2004/12: 飯田, 甲山森林公園, 2004/2, 1997/2, 夙川, 2002/12: 支探, 浜甲子園, 2004/5, 1991/2, 武庫川, 1999/2, 1994/2: 支探, 2001/12, 1993/12: 飯田, 武田尾, 2001/6: 支独, 北山貯水池, 2005/1, 2002/1: 梶本, 1990/2: 飯田: 西脇市 加古川, 1998/2, 1998/2: 飛田: 赤穂市 古池漁港, 2004/12: 松重, 千種川, 2004/12: 重政: 相生市 壺根漁港, 2004/12: 松重: 尼崎市 庄下川, 2005/2: 下土居, 猪名川, 2004/12: 長江, 猪名川公園, 2002/2, 2001/2, 尼崎沖埋立地, 2003/12: 支探, 1998/12: 長江: 姫路市 高木, 2003/11, 三谷, 市川, 1993/12: 支探, 市川河口, 2004/2: 松重, 勅旨, 1999/12: 三谷, 揖保川河口, 2004/12: 松重: 宝塚市 すみれが丘, 2001/1: 倉本, 塩尾寺, 1999/12, 1997/12: 支探, 仁川, 2001/5, 2001/1: 大河戸, 清荒神, 2001/5, 2001/1: 西田, 武庫川, 2004/1, 2000/2: 丹羽, 弁天池, 1989/1: 飯田: 豊岡市 円山川, 1997/7, 六方, 2000/5: 但馬: 明石市 金ヶ崎, 2004/12, 1998/1, 江井ヶ島, 2004/12, 1998/1, 瀬戸川河口, 2004/12, 1998/1, 西島, 2004/12, 1998/1: 長尾, 西二見, 2005/1: 工, 大窪, 2004/12: 田中, 明石漁港, 2004/12: 松重, 明石公園, 2004/1, 2001/1: 支探, 2004/1: 松重, 明石港, 2004/12, 明石川, 2004/12: 渡辺: 龍野市 揖保川町,



越冬期 1994年以前



越冬期 1995年以後

2003/1: 松重, 龍野公園, 1999/2, 1997/2: 加古郡 稲美町, 2001/5, 1994/5: 支探, 岡, 2004/12, 1995/12: 渡辺, 加古大池, 2004/2: 松重, 経の池, 2003/1: 松重, 溝ヶ沢池, 2004/2, 2003/2: 支探, 2004/1: 松重, 1999/1, 1997/1: 飛田, 国安, 森安, 2004/12: 渡辺, 千波池, 1990/12: 工, 2001/2, 1997/2: 飛田, 長法池, 2003/1: 松重, 入ヶ池, 1997/1: 飛田, 2003/1: 松重, 貝原池, 2000/1, 鶴池, 2001/1, 1999/2: 飛田: 三原郡 花岡池, 2002/1: 下土居, 慶野松原, 2004/1, 1999/1: 橋本, 淳仁天皇稜, 2002/1: 下土居, 1998/12: 出口, 大日川河口, 2004/12, 中津浦, 2004/12, 鳥取, 1999/1: 出口: 城崎郡 楽々浦湾, 2004/12, 1992/1: 中井, 1998/7: 但馬, 矢田川, 1996/5, 1993/12, 林, 2000/1: 朝来郡 和田山町, 1994/1, 1993/12: 但馬: 津名郡 江井漁港, 2004/12, 鳥飼川河口, 2004/12, 1998/12, 都志海岸, 2004/12: 出口: 美方郡 用野, 2001/12: 小畑: 氷上郡 佐野鳥獣保護区, 2000/1: 梅津, 小野, 2004/12, 2000/2: 梅津: 揖保郡 岩見, 1998/10, 中川, 2004/12: 松重, 東嘴崎, 2001/7: 三谷: 養父郡 円山川, 1993/12, 下網場, 2004/7, 2001/5: 但馬

コウノトリ目 Ciconiiformes
サギ科 Ardeidae

6. サンカノゴイ *Botaurus stellaris* 【絶滅危惧B類(EN),Cランク】

(サギ科—冬鳥—)



越冬期 1994年以前



越冬期 1995年以後

1994年以前において、兵庫県ではまれな冬鳥として姫路市や加東郡社町で越冬期に確認され、移動期に姫路市、赤穂市、伊丹市の溜池や海岸地域でも確認されたことがある。1995年以後は確認情報がない。

確認情報

姫路市 大塩町, 1976/5:兵庫の鳥1990;加東郡 社町明石池, 1980/2:三谷, 1980/12, 1977/1:兵庫の鳥1990, 社町大池, 1978/2:兵庫の鳥1991

7. ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis* 【Aランク】

(サギ科—夏鳥—)



繁殖期 1994年以前



繁殖期 1995年以後

夏鳥として渡来するが兵庫県では数が少なく、1994年以前は豊岡市、姫路市、加古郡、伊丹市など数ヶ所で確認されたにすぎない。1995年以後はさらに少なくなり、生息地は播磨東部地域に偏在している。

確認情報

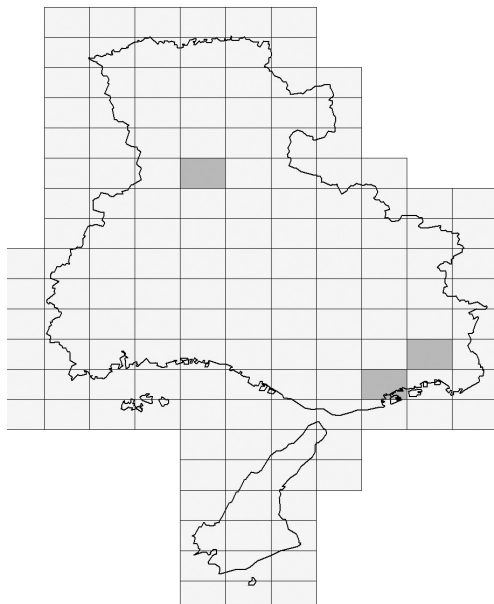
伊丹市 昆陽池, 1993/7:兵庫の野鳥Ⅱ:姫路市 大塩町, 1972/7:兵庫の鳥:豊岡市 野上, 1989/7:早川, 下陰, 1991/7, 1990/7:但馬:加古川市 加古川, 1981/7:兵庫の鳥:加古郡 稲美町, 1996/6, 1993/6:支探, 入ヶ池, 1983/6:兵庫の鳥

8. オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus* 【絶滅危惧B類(EN),Cランク】
該当情報なし。

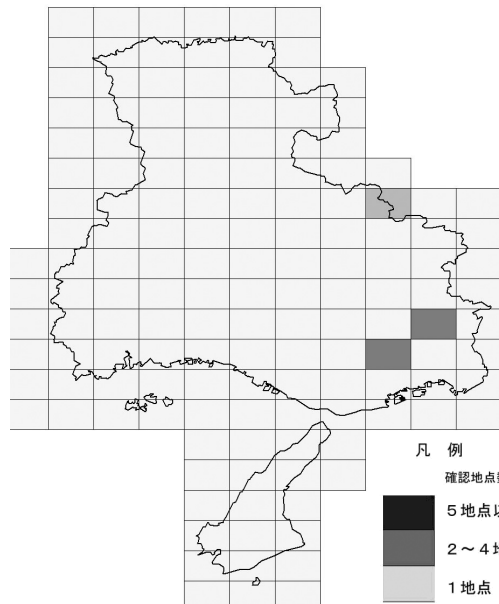
(サギ科—夏鳥—)

9. ミゾゴイ *Gorsachius goisagi* 【準絶滅危惧(NT),Aランク】

(サギ科—夏鳥—)



繁殖期 1994年以前



繁殖期 1995年以後

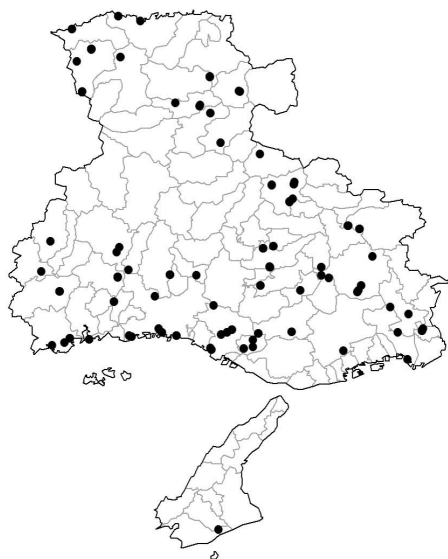
日本でのみ繁殖する種とされているが、兵庫県内ではその生息確認情報は少ない。生息確認地は限られている。

確認情報

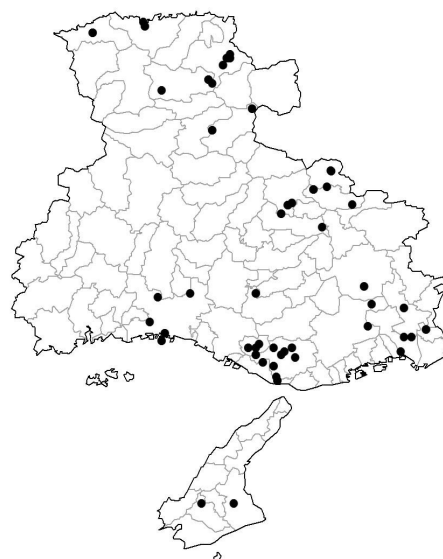
神戸市 再度山, 1979/6:兵庫の鳥, 山田町, 2004/6, 2004/5:三谷:西宮市 北山町, 1972/5:兵庫の鳥:宝塚市 玉瀬, 2002/5:渡辺:養父郡 大屋町, 1985/5:三谷

10. ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*

(サギ科—留鳥—)



繁殖期 1994年以前

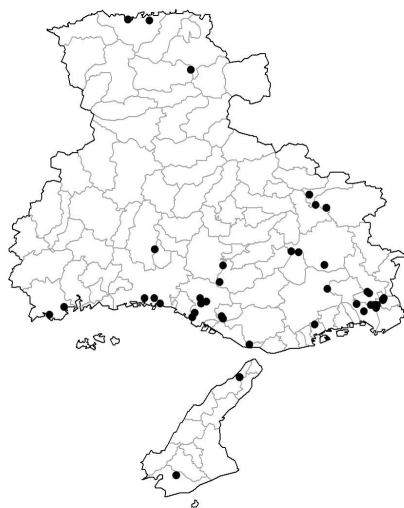


繁殖期 1995年以後

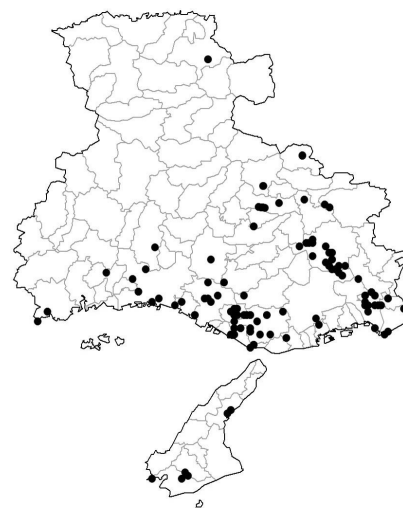
繁殖期にはほぼ県内全域に分布する種と考えられるが、近年繁殖情報が減少している。他のサギ類と共に繁殖コロニーを形成するが、近年の住宅地の造成等の影響を受けて繁殖コロニーを形成できる場所が減少していることも要因の一つと考えられる。越冬期は県南部に移動する傾向がある。

確認情報

伊丹市 昆陽池, 2001/5; 長江, 2003/12; 1982/12: 支探: 加古川市 加古川, 1987/5, 1986/2. 日岡山公園, 2003/12, 2001/12, 平荘湖, 1982/1: 支探, 2004/2: 松重, 西山, 1997/6: 小畑; 三田市 武庫川, 2004/12, 羽束川, 2004/12, 1991/5, 大川瀬, 1983/5, 福島大池, 1984/5: 久後, 1997/7, 1996/1: 支探, 藍本, 2004/12, 1980/: 久後: 洲本市 大池, 2004/7: 出口: 小野市 河合中町, 2000/7: 飛田, 平池, 1989/1, 男池, 1991/1, 1984/1: 支探: 神戸市 玉津町 田中, 2001/6, 岩岡町 野中, 2002/5, 1995/5, 神出町 宝勢, 1995/5, 平野町 黒田, 1995/5, 押部谷町 和田, 1995/6, 性海寺川, 2004/6, 2003/6: 渡辺, 神出 宝勢, 2002/12: 松重, 小島喰池, 1997/1: 飛田, 布引, 1992/2: 支探, 中央区, 2004/12: 福原, 東有野台, 2004/6: 下土居, 森林植物園, 1994/7: 支探, 道場町, 2001/5: 支独: 西宮市 塩瀬町, 1993/5, 甲山森林公園, 2004/2, 1997/1: 支探, 2004/1, 1990/4: 飯田, 浜甲子園, 1999/12: 支探, 仁川町, 1992/7: 飯田, 武庫川, 1999/2, 1987/12: 支探, 2001/1, 1989/1: 飯田, ニテコ池, 1995/1, 1992/2: 梶本: 赤穂市 西浜塩田跡, 1992/1: 支探; 尼崎市 猪名川公園, 2001/2: 支探, 猪名川, 2004/12: 長江: 姫路市 井ノ口, 1981/4: 三谷, 書写山, 2003/7, 1984/5: 支探, 中島, 1990/2, 1989/6: 三谷, 1988/5, 1984/5: 支探, 飾磨, 1997/6: 小畑, ハス池, 1996/7, 埋立地内, 1996/5: 飛田, 豊富町, 1995/6: 三谷, 市川, 1996/2, 1985/12: 宝塚市 塩尾寺, 1999/12: 支探, 御殿山, 1993/2, 大峰山, 2001/5: 丹羽, 仁川, 2001/5: 大河戸, 弁天池, 1989/1: 飯田, 自然休養林, 1986/5: 支探: 豊岡市 戸牧, 1999/1, 六方, 2000/5, 庄境, 2003/7, 2003/6, 祥雲寺, 2004/6: 但馬, 2004/6: 支独: 明石市 金ヶ崎, 2004/12, 1998/1: 長尾, 明石川, 2000/4: 渡辺, 大窪, 2004/12, 1998/7: 田中, 西二見, 2005/1: 工, 明石公園, 2004/1: 松重, 2004/1, 1985/2: 龍野市 龍野公園, 1999/2, 1997/2: 加古郡 稲美町, 1997/5, 1992/6, 加古大池, 1987/7, 溝ヶ沢池, 2004/2: 支探, 蛸草,



越冬期 1994年以前

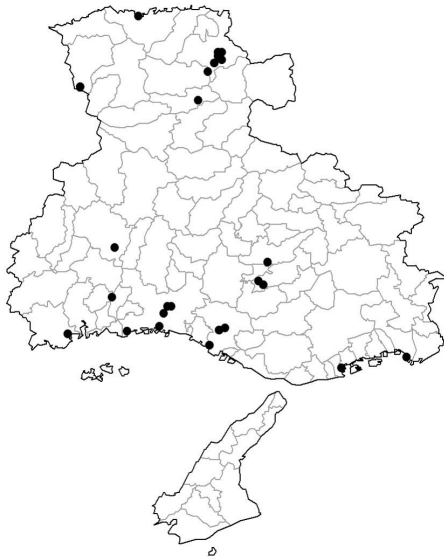


越冬期 1995年以後

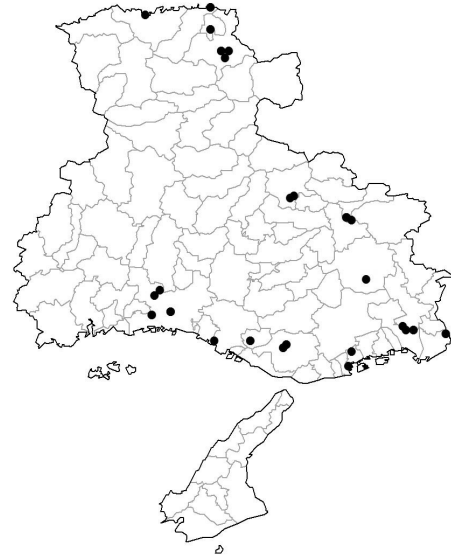
1995/7: 小畑, 入ヶ池, 2003/1: 松重, 国安, 2004/6, 1996/5, 岡, 2002/12: 渡辺, 溝ヶ沢池, 1999/1: 飛田, ブドウ池, 2003/1: 松重: 三原郡 淳仁天皇陵, 2001/2: 下土居, 籠池, 1999/5: 出口: 城崎郡 矢田川, 1995/7, 土居, 2001/7: 朝来郡 岡, 1995/6, 糸井溪谷, 2004/7: 但馬: 津名郡 常盤, 1979/1: 平野: 美方郡 七釜, 1999/6: 但馬: 氷上郡 小野, 2004/5, 佐野鳥獣保護区, 2002/6, 1995/6: 梅津

11. ササゴイ *Butorides striatus* 【Cランク】

(サギ科—夏鳥—)



繁殖期 1994年以前



繁殖期 1995年以後

夏鳥として渡来し、この種だけの繁殖コロニーを形成する。その生息分布は県北部地域と淡路地域を除く県南部地域に偏在している。近年、摂津地域、丹波地域に見られるようになった。

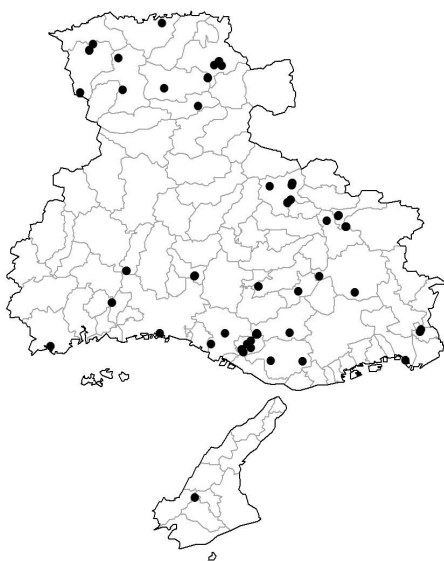
確認情報

加古川市 加古川, 1986/6; 支探, 加古川河口, 2004/7; 木下; 三田市 福島大池, 1999/7; 支探; 神戸市 平野町黒田, 2004/6, 押部谷町和田, 2004/6; 渡辺, 布引, 2004/6; 支探, 本町公園, 1996/7, 1992/7; 中南; 西宮市 甲山森林公園, 2004/6; 飯田, 浜甲子園, 1989/5; 支探, 仁川町, 2004/7; 飯田; 尼崎市 猪名川, 2004/7, 2001/6; 長江; 姫路市 安田, 2003/5, 1994/7; 三谷, 書写山, 1996/5;

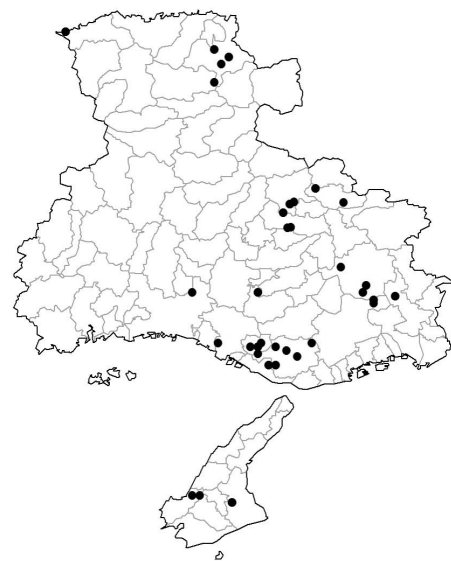
支探, 本町, 1979/5; 三谷; 宝塚市 仁川, 2001/5; 大河戸; 豊岡市 八代川, 1989/5, 梶原, 1993/7, 庄境, 1998/7, 1990/7, 大磯, 1990/6, 廃川, 1997/7, 1996/6, 六方, 2004/6, 1990/5; 但馬, 2004/6; 中井; 加古郡 国安, 森安, 2002/7; 渡辺; 城崎郡 安木, 1999/7, 1994/6, 来日入口, 2000/6, 1997/7, 田久日, 1997/7; 但馬; 水上郡 佐野鳥獣保護区, 2000/7; 梅津

12. アマサギ *Bubulcus ibis*

(サギ科—夏鳥—)



繁殖期 1994年以前



繁殖期 1995年以後